朗詠の前後に能衣裳をつけた舞姫が入場し、「大和御歌の舞」「須賀の宮の舞」を主神に奉納

教主さまのお歌

中東の遺児ら和平の交流を
重ねぬあらたな世をひらかむと

千よろずの国民（くにたみ）なべて同胞（はらから）と
むつびあふ日をひた祈るなり

Jen la popolar’
tutmonda intimiĝas
kiel la fratar’–
aspire al la tago,
rektanime preĝas mi.

教主さまのお歌をはじめ全国から寄せられた献詠歌、特別献詠歌を心一つに朗詠した

能管による置笛の調べによって、場が清められる

大本東京本部開設 50 周年記念・東京大本歌祭

世界平和への思いを一つに

10月8日、大本東京本部能舞台で「大本東京本部開設50周年記念・東京大本歌祭」が執行された。

三代教主さまのご発意により国内外の宣教、海外交流の門戸・拠点として、首都・東京、上野池之端にあった「大本東京本苑」は昭和43年、「大本東京本部」となり、「東光苑」とご命名された。

それから50年、これを慶祝する歌祭には、駐日イスラエル大使をはじめ、神道、仏教、キリスト教、イスラームなど宗教者の来賓、信徒ら、全国から535人が参拝した。

歌垣には、教主さまのお歌をはじめ全国から寄せられた1240首から選ばれた抜歌512首の献詠歌が供えられたほか、森川宏映天台座主、田中恒清石清水八幡宮宮司、芳村正徳神習教教主、庭野日鑛立正佼成会会長、植松誠日本聖公会首座主教、徳増公明日本ムスリム協会会長、東久邇信彦世界連邦文化教育推進協議会会長、マーク・フェッツ世界エスペラント協会会長からの特別献詠歌、また、ヤッファ・ベンアリ駐日イスラエル大使、ラガット・アル・サッカ駐日ヨルダン大使館次席外交官、ニダル・ヤヒヤー駐日レバノン大使、アイマン・アリ・カーメル駐日エジプト大使、ワリード・シアム駐日パレスチナ代表部代表らがそれぞれ色紙に思いをのせた「平和のメッセージ」が共に供えられた。

午後2時、置笛によって厳かに開始された歌祭は、斎主・森良秀祭務部長による八雲神歌奏上、斎主、祭員、朗詠者による歌祭神歌奏上と続き、舞姫が入場、大和御歌の舞を舞い納め、朗詠者が開祖さまのお歌を斉唱、続いて献詠歌が朗詠された。東光集、木の花抄、特別献詠歌の朗詠に続き、ヤッファ・ベンアリ駐日イスラエル大使が平和のメッセージを音読、また各国からの平和のメッセージが代読された。引き続き、斉唱歌、四光明と献詠歌の朗詠が進み、最後に教主さまのお歌を斉唱、舞姫により須賀の宮の舞が清々しく舞い納められ、斎主の八雲神歌奏上を以て東京大本歌祭は終了。

祭典後には成尾陽大本総務が教主さまのごあいさつを代読、鈴木穎一大本本部長が東光集、木の花抄の入選者代表と四光明受賞者に記念品を贈呈。ベンアリ大使、鈴木本部長がそれぞれあいさつし、歌祭は終了した。

天位を受賞され、鈴木穎一本部長から記念品を受け取る長谷川紀代さん（石川）

ヤッファ・ベンアリ駐日イスラエル大使をはじめ、来賓、信徒ら合わせて 535 人が参拝した

玉串受付や下足預かり、街頭や上野公園内等、神旗を掲げての道案内など、当日は関東教区の奉仕団も大活躍！

東光苑月次祭

東光苑月次祭・市杵島姫命例祭は、10月14日、午前10時30分から、斎主・瀧澤トミ子東京主会直心会員のもと執行され、286人が参拝した。

祭員は関東教区直心会員、少年祭員は東京主会の成田小巻さん、成田かさねさん、玉置巴さん、伶人は二絃の会関東支部、大本神諭拝読は渡辺タカ子直心会福島連合会長、添釜は東光庵にて宇野社中がそれぞれ担当した。

祭典後、猪子恒大本東京宣教センター長があいさつ。「今月は斎主から典礼まで、すべて女性祭員でご奉仕いただいた。大変清々しい祭典だった」と述べた後、8日に開催された、大本東京本部開設50周年記念「東京大本歌祭」について、教主さまから「東京歌祭の成功をとても嬉しく思います。皆さまご苦労様でした」とのお言葉をいただいたことを報告。また、「厳粛に、立派に執行されたことは、信徒の皆さまのご奉仕、ご協力の賜物」と述べるとともに、信徒の皆さまの献金による畳の表替え、正門の補修、事前清掃など、物心両面からのご協力に謝辞を述べた。

続いて『生きがいの探求』からの尊師さまの詩を、能舞台にて群読の形式で千葉主会が奉納した。

8月から稽古を重ね、祭員奉仕に臨んだ

出口日出麿尊師さまの詩を群読の表現方法で奉納（千葉主会）

東光苑秋季祭式講習会

東光苑秋季祭式講習会は、9月15日から17日の3日間、東京宣教センターを会場に開催され、15人が参加した。

受講者は初級・中級・上級と、それぞれ3クラスに分かれて参加。初級は基本動作から正中動作、後取動作、祝詞展巻奏上、祓式行事など、月次祭までの作法を受講。中級クラスがそれに加え、庭上祭、結婚式などを実習した。また、上級クラスでは、招魂式、発葬式、50日合祀祭などを、実際に模擬祭典を通して実習した。

21世紀・生きがい講座

第187回「21世紀・生きがい講座」は、9月19日午後7時から、港区新橋の航空会館で開催され、成尾陽大本本部愛善宣教部長が、「守りたい〝日本の心〟～大本三代教主・出口直日が残したもの～」と題して講話した。参加者は34人（内、一般4人）。

成尾講師は、ご晩年の三代教主さまとの思い出などを交えながら、日本の伝統文化に深い造詣を持たれ、自ら実践し、大本の教風として取り入れ、育まれていったご足跡を紹介した。また、日本人の心のふるさと「奈良明日香村」を近代化の開発から守るために尽力されたご功績を紹介、「明日香村が、現在の状態で残っていることは、三代教主さまのご尽力の賜であることを、知っていただきたい」と参加者に強く語りかけた。

参加者からは「明日香村保存と高松塚古墳発見に寄与された三代教主さまのご存在に、感銘した」（男性・一般）、「日本に生まれて良かったと思わせていただいた。これからを生きる若者たちに、日本の文化の素晴らしさを伝えられるように自らを磨きたい」（女性・一般）等の声が寄せられた。

東光苑祭典・行事予定

11月

4日（日）午前10時30分執行
開教126年 大本開祖大祭遥拝祭

11日（日）午前10時30分執行
大本東京本部開設50周年記念・
東光苑秋季大祭
新穀感謝祭・七五三詣り

21日（水）午後7時～8時30分
21世紀・生きがい講座（新橋・航空会館）
講題 ズームアップ「現代の大本」
～映像撮影を通して伝えたいこと～
講師 斉藤安隆（大本ビデオ制作室員）

24日（土）・25日（日）
東光苑葬祭研修会

12月

9日（日）午前10時30分執行
東光苑月次祭・市杵島姫命例祭
※当日、天声社の出張販売があります。左の亀岡本社へ事前に注文しておくと便利です。
TEL 0771（24）7523
FAX 0771（25）3655

16日（日）午前10時30分執行
開祖聖誕祭（182年）

19日（水）午後7時～8時30分
21世紀・生きがい講座（新橋・航空会館）
講題 皇道大本と二度の弾圧
～光明世界を見すえて～
講師 猪子 恒（東京宣教センター長）

25日（火）午前10時30分執行
出口日出麿尊師毎年祭（27年）

大本東京本部ホームページ
URL http://oomoto-tokyo.com